

災害時&緊急時

ペット手帳

付属の袋の中に、この手帳、ペットの診察券、予備の写真等を
入れておきましょう。



磯子区版

飼い主情報

氏名	
住所	
連絡先	

ペットと飼い主の
写真貼付

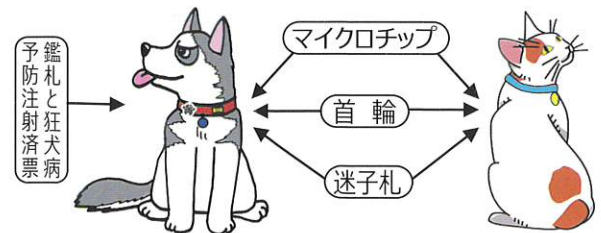
ペット名(呼び名)

ペット情報

動物種	イヌ ・ ネコ ・ ()		
ペット名	(オス・メス)		
生年月日		体重	kg
鑑札番号		不妊去勢	有・無
マイクロチップ	有(ID:)・無		
狂犬病 予防 接種歴 年/月			
ワクチン 接種歴 年/月	/ (種)	/ (種)	/ (種)
種類	/ (種)	/ (種)	/ (種)
餌	種類		
病歴、治療 中の病気			
必要な薬			
かかりつけ 動物病院		TEL	
		TEL	
特記事項			

災害発生に備えて

- 普段から身元のわかるものを



マイクロチップについては 磯子区生活衛生課 750-2452
またはAIPO (アイポ) 事務局 03-3475-1695 まで

- ケージやキャリーに慣らしを



避難場所では多くがケージ飼育です。
ケージの中で落ち着いてられるように
普段から慣らしておきましょう。

- ペット用の防災備蓄の準備を

持ち出し品リストを参考に、避難グッズや
フードを備えておきましょう。



- 複数の避難先を

仲の良い近所の飼い主どうして話し合い、避難先にでき
そうな仲間のお宅を覚えておくのも、ペットにも飼い主に
もストレスの少ない方法です。

災害が発生したら

■ まずは身の安全

自分の身の安全を確保しましょう。ペットを守るためにはまず飼い主が無事であることが大切です。

■ 動物の安全

動物もパニックになります。飼い主が落ち着いてペットを落ち着かせるよう努めましょう。犬はすぐにリードをつけ、猫は慣れたケージなどに入れましょう。



ペット同行避難

■ 避難場所は人が最優先

多くの人が集まる場所は動物が苦手な人もいます。動物の好き嫌いで避難場所を分ける余裕はなく、体育館や教室などの人の避難場所には原則ペットは持ち込めません。

■ 地域の避難場所以外では

被災を免れた飼い主仲間の家へ預ける、ペットと車中避難する、なども、避難の手段として考えられます。ペットの性格やしつけの度合いに応じて避難方法を選択することが大切です。

4

地域防災拠点では

- 1 ペットを校舎内や避難部屋に入れてはいけません。
- 2 「ペット管理委員会」などをつくって、飼い主同士が協力し合ってペットの飼育に当たしましょう。
- 3 運営委員会の指示に従い、ペットは決められた場所で、ケージ内や、支柱につないで飼育しましょう。
- 4 排泄は「動物用トイレ」に指定した場所でさせ、後始末をしましょう。
- 5 避難所にはペットの世話ができない飼い主もいます。みんなで助け合いましょう。
- 6 避難所には、飼い主不明動物も収容される場合があります。この動物たちの世話を皆さんで共同して行っていただくようお願いします。
- 7 ペットの飼育に必要な用具と当面の食糧は、飼い主が持ちよるのが原則です。もし、持ってくる事が出来なかった場合は、担当のペット管理委員に相談してください。
- 8 ペットの負傷や病気の治療・健康についての相談は、「動物救済病院」のプレートを掲げた近隣動物病院で受けられます。



5

災害時 ペット用品の持ち出し品リスト

必需品	<input type="checkbox"/> 療法食・薬
	<input type="checkbox"/> 5日分以上のフード・水
	<input type="checkbox"/> 予備の首輪・リード（伸びないもの）
	<input type="checkbox"/> 食器
	<input type="checkbox"/> ガムテープ
準必需品	<input type="checkbox"/> ペット手帳
	<input type="checkbox"/> (犬)ペットシーツ
	<input type="checkbox"/> (猫)使い慣れたトイレ砂
	<input type="checkbox"/> 排泄物の処理用具(スコップやフン袋など)
	<input type="checkbox"/> 飼育ケージ・キャリーバッグ
	<input type="checkbox"/> 新聞紙
	<input type="checkbox"/> ビニール袋
あれば便利	<input type="checkbox"/> タオル
	<input type="checkbox"/> おもちゃ
	<input type="checkbox"/> ブラシ
	<input type="checkbox"/> 洗濯ネット(猫)
	<input type="checkbox"/> レジャーシート



車中避難

車中避難ではエコノミークラス症候群と熱中症に注意！

定期的な運動や十分な水分補給を行い、晴天の日は車内温度に常に注意しておきましょう。



参考：横浜市「災害時のペット対策」、環境省「いつもいっしょにいたいから」ペット動物の災害対策

普段の緊急連絡先

緊急時の連絡先 いなくなったときなどの	横浜市動物愛護センター	045-471-2111	
	区役所	磯子区 生活衛生課	045-750-2452
		中区 生活衛生課	045-224-8339
		南区 生活衛生課	045-341-1192
		港南区 生活衛生課	045-847-8445
		金沢区 生活衛生課	045-788-7873
	警察署	磯子警察署	045-761-0110
		南警察署(南区)	045-742-0110
		山手警察署(中区)	045-623-0110
		港南警察署(港南区)	045-842-0110
		金沢警察署(金沢区)	045-782-0110
	資源循環局磯子事務所 (交通事故等で万が一のとき)	045-761-5331	

災害時の連絡先

捜索 援	磯子区生活衛生課	045-750-2452
	横浜市動物救済本部 (横浜市動物愛護センター)	045-471-2111
地域防災拠点への動物救済物資(ケージ、テント、ペットフードなど)は、区役所生活衛生課に要請してください。おおむね3日程度で救済物資が届けられます。ペットの捜索や飼い主不明のペットの情報も区役所生活衛生課にご連絡ください。		

ペット手帳に関するお問合せは
磯子福祉保健センター生活衛生課 TEL:045-750-2452